

都市再生整備計画 事後評価シート  
北島地区

平成25年2月

徳島県北島町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	徳島県		市町村名	北島町		地区名	北島地区			面積	877 ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	2,953百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(6路線)、地域生活基盤施設、高次都市施設										
		提案事業	地域創造支援事業(河川改修:地蔵川・仁木ノ浜川、耐震改修:北島町総合庁舎)、事業活用調査(事業評価調査)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(1路線)	削除/追加の理由 道路:事業実施年度を変更したため削除。				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 事業実施年度は変更したが、数値目標は据え置く					
		提案事業	地域創造支援事業(河川改修:仁木ノ浜川)	仁木の浜川:事業実施年度を変更したため削除				防災環境の満足度の指標に関係するが数値目標は据え置く					
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(日清紡北ポンプ場、江尻防災公園)	日清紡北ポンプ場改修:近年の集中豪雨や台風による浸水被害対策強化のため追加。 江尻防災公園:災害時の避難場所および飲料水を確保することによる災害対策強化のため追加。									
		提案事業	地域創造支援事業(公共公益施設:水辺交流プラザ休憩施設、耐震改修:北島町立保育所、防災マップ作成)	水辺交流プラザ休憩施設:水辺交流プラザの更なる広域交流創出を測るため追加。 北島町立保育所:今後予測されている南海地震等への早急な対応として耐震補強を追加。 防災マップ:ハード面と併せてソフト面からも災害に強いまちづくりを進めていくため追加。									
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更	なし											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	防災環境の満足度	%	17	H16	27	H23	●●●●●	42	○	あり なし	防災公園や排水機場(ポンプ場)の整備により防災環境が強化されたことにより住民の満足度が高くなった。	なし
	指標2	東南海・南海地震に耐える避難所への収容人員の率	%	17	H19	27	H23	●●●●●	85	○	あり なし	北島庁舎をはじめ、公共施設の耐震補強強化されたことにより収容人員数が大幅に増加した。	なし
指標3	町民の水辺環境に対する満足度	%	20	H16	30	H23	●●●●●	44	○	あり なし	今切川水辺交流プラザおよびその休憩施設の整備により、町民だけでなく町外からの利用者もふえ、水辺の憩いの場となった。	なし	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み				
	その他の数値指標1	整備道路の費用-便益分析	-	-	-	-	-	●●●●●	2.64	△	四国横断自動車道の整備により、交通の広域化に伴い町内の道路利用が増加したため、費用-便益分析結果が高くなった。	なし	
	その他の数値指標2	町民の道路整備に関する満足度	%	-	-	-	-	●●●●●	63	△	坂野東部第一署に通じる町道953号の整備により、現場へ緊急車両が到着する時間短縮が図られたことにより満足度が高くなった。	なし	
その他の数値指標3	水辺交流プラザ休憩施設の利用者数	人/月	-	-	-	-	●●●●●	1,040	△	国土交通省の進める「今切川かわまちづくり」による親水護岸・遊歩道等の整備と一体となった整備を行った結果、多くの利用者が訪れた。	なし		
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>水辺交流プラザは町外からの利用者も多く、広域的な利用者も増加したことにより、水辺の憩いの場として創出されている。</li> <li>耐震化された避難所の収容人員数が増加したため、防災環境の強化が図られている。</li> </ul>												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた										
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり体制の構築	自主防災組織率の推移調査	都市再生整備計画に記載し、実施できた				○							
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				町民へ情報を発信し町民の自主防災意識を高め、更なる自主防災組織率の向上を図る。							
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

## 様式2-2 地区の概要

北島地区 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 安心・安全で快適なまちづくりと地域住民の交流拠点の創出 目標1: 住民の避難所の耐震化や緊急車両の迅速な活動経路の確保により防災力を高め、緊急時対応の迅速化を図る。 目標2: 台風や集中豪雨による浸水被害の解消に向け、排水施設の整備により快適な生活環境の向上を図る。 目標3: 広域交流のためのアクセス道の整備と併せ、交流拠点施設や公園の整備により地域交流を図る。		防災環境の満足度	単位: %	17.	H16	27.	H23	42.	H24
		東南海・南海地震に耐えうる避難所への収容人員の率	単位: %	17.	H19	27.	H23	85.	H24
		町民の水辺環境に対する満足度	単位: %	20.	H16	30.	H23	44.	H24
		整備道路の費用-便益分析	単位: -	-	-	-	-	2.64	H24
		町民の道路整備に関する満足度	単位: %	-	-	-	-	63.	H24
		水辺交流プラザ休憩施設の利用者数	単位: 人/月	-	-	-	-	1,040.	H24

### ● 地域生活基盤施設(基幹事業)

- ・ポンプ場、排水機場改修
- ・排水路の整備



老門ポンプ場



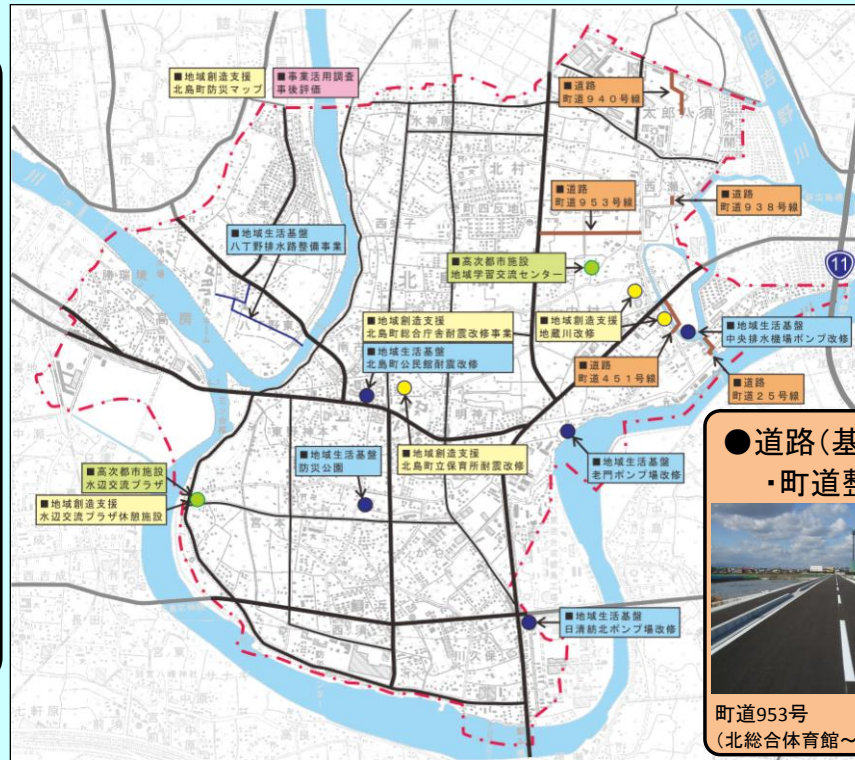
日清紡北ポンプ場



中央排水機場



八丁野地区排水路



### ● 地域創造支援事業(提案事業)

- ・公共公益施設
- ・河川改修



今切川水辺交流プラザ



地蔵川護岸改修

### ● 道路(基幹事業)

- ・町道整備事業



町道953号

(北総合体育館～東部消防本部)



町道451号(中須～老門)



町道25号(老門橋)

まちの課題の変化

- ・防災環境については、庁舎の耐震補強、防災公園の整備、護岸改修、排水路やポンプ場の新設および改修を行ったことにより、防災環境の強化が図られた。
- ・避難所の収容人員率の増加により、東南海・南海地震への防災環境の強化が図られた。
- ・水辺プラザおよび休憩施設の整備により、水辺の公共施設利用者数が増加し、河川と親しみとともに町内外の人々との交流が図られた。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・近年の集中豪雨や台風による水害に対する排水施設の整備や改修を行い防災環境の更なる強化を図る必要がある。
- ・東南海・南海地震に備え、主要施設の耐震化等の防災環境の更なる強化を図る必要がある。
- ・四国横断自動車道の整備に伴い町内の交通量が増加すると考えられるため、四国横断自動車道利用交通を考慮した道路網ネットワーク整備を図る必要がある。